

大阪都市魅力創造戦略2030（仮）

事務局たたき（案）

令和8年●月

大阪府・大阪市

はじめに

【これまでの取組み】

- 大阪府・市では、世界的な創造都市の実現に向けた観光・国際交流・文化・スポーツ各施策の上位概念となる府市共通の戦略として2012年にはじめて「大阪都市魅力創造戦略」（計画期間：2012～2015年度）を策定し、以降、一体となって各種プロジェクトを推進することにより、大阪の賑わいを創出、都市魅力の向上を図ってきた。
- 2016年に策定した「大阪都市魅力創造戦略2020」（計画期間：2016～2020年度）では、「世界的な創造都市、国際エンターテインメント都市へ加速」を掲げ、好調なインバウンド需要を取り込み、着実に国際都市としてのプレゼンスを高める最中、2020年、新型コロナウイルス感染症の蔓延により、人々の移動や集客が制限され、インバウンド需要がほぼ消滅する等、大阪においても、深刻な影響を受けた。
- 2021年に策定した「大阪都市魅力創造戦略2025」（計画期間：2021～2025年度）は、そのような難局に直面するなかで、新たな時代を切り拓き、世界に誇る魅力あふれる都市を創り上げることをめざし策定した戦略である。この戦略では、新型コロナウイルス感染症による社会への影響を鑑み、フェーズに応じた計画的なプロジェクトの推進を行った。その結果、水際対策解除後も速やかにインバウンドを含む観光需要を取り込み、加えて、2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）の開催に向けて国際都市大阪にふさわしい新たな賑わい創出に取り組むことで、2024年の来阪外国人旅行者数は、コロナ禍前を上回る過去最高値を達成した。

【今後の都市魅力における重要な視点】

- 豊かな食や歴史、文化、芸術、スポーツ等のすべてが大阪の都市魅力であり、これらの魅力を生かした賑わいの創出や発信に取り組むことにより、内外から人、モノ、投資等を呼び込む「強い大阪」の実現を図ってきた。
- 2025年は大阪・関西万博の開催を機に、国内外から多くの人々が大阪を訪れているが、開催後もこの流れを継続させ、大阪が世界から選ばれる国際都市へと成長するためには、以下のような視点をもって取り組んでいくことが重要である。
- 今後も国内外の人々から選ばれ何度も訪れたい都市になるためには、これまで築き上げてきた大阪ならではの強みともいえる個性の磨き上げが必要であり、加えて、大阪が有する豊富な観光資源やポテンシャルの価値を最大化することによって、世界に通ずる多彩な魅力を創出することが必要である。
- また近年は、世界的に「持続可能な観光」への関心が高まっており、安全・安心な観光地域づくりや、観光人材の育成、地域と観光の両立等にも配慮し、デジタル技術等も活用したすべての人が快適に過ごすことができる都市をめざしていくことが必要である。
- 今後もこれまで数々のイノベーションを起こしてきた進取の気風や創造性、多様な人々を受け入れる風土など、大阪ならではの強みを存分に発揮し、世界に通じる「おもてなし力」にあふれる国際都市をめざしてチャレンジし続けていく。

【本戦略の位置づけ】

- 以上のような視点のもと、大阪が国際エンターテインメント都市をめざすための方向性を示すものである。

計画期間

2026（R8）～2030（R12）年度

めざす姿と基本的な考え方

めざす姿

国際エンターテインメント都市OSAKA **～府民・市民が愛着を持つ、持続可能な魅力あふれる都市へ～**

大阪が持つ歴史・文化等を含む都市魅力のすべてが、「多くの人を魅了するエンターテインメント」であり、その魅力を最大限に活用して、国内外から選ばれ、ヒト・モノ・投資を呼び込む都市をめざす。

また、国内外の人々の交流により、新たな文化や魅力が創出されるとともに、府民・市民が誇りや愛着を持つことで、さらに人々を惹きつける魅力へと進化する「持続可能な好循環」をめざす。

基本的な考え方

本戦略では、次の3つの基本的な考え方のもと、6つのテーマを定め各種施策を推進する。
また、本戦略に基づく各種施策について、持続可能な開発目標（SDGs）の達成に貢献する視点をもって推進していく。

個性を生かした都市魅力づくり

世界に通じる多彩な都市魅力の創造

国際都市にふさわしい「おもてなし力」の充実

▶ 個性を生かした都市魅力づくり

大阪・関西万博のレガシーを受け継ぎ、大阪が持つ食や歴史、文化、芸術、スポーツなどの強みに更なる磨きをかけ、大阪を訪れるきっかけをつくり、一度だけでなく何度も訪れたくなるような大阪ならではの個性を生かした都市魅力をより強化する。

▶ 世界に通じる多彩な都市魅力の創出

大阪が有する価値・ポテンシャルの最大化による新たな魅力、場所・時間なども含めた新たな楽しみ方、まちづくりと連動した国際的都市魅力の創出など、世界に通じる新たな価値・魅力の創出に取り組むことで、国内外から選ばれる世界水準の多彩な都市魅力を創出する。

▶ 国際都市にふさわしい「おもてなし力」の充実

グローバル人材の育成・活躍やDXの推進等に加え、自然災害等の危機事象からのレジリエンス力を備えるなど、来阪者が、安全・安心で快適に滞在を楽しむことができるような、多様性にあふれた国際都市にふさわしい受入環境の充実を図ることで、府民・市民が大阪に誇りや愛着を持ち、来阪をお勧めしたくなるような魅力あふれる都市をめざす。

上記の3つの基本的な考え方に沿って取組を推進するためには、行政・経済界・地域団体など様々な主体がその担い手となり、それぞれの強みを最大限に発揮していくことが必要であるため、大阪府、大阪市、府内市町村や大阪観光局をはじめとする各主体が一体となって都市魅力の向上に向けた取組を展開し、旅行者、民間事業者、府民、市民など、全ての人が快適に過ごせる環境づくりを進め、大阪全体の活性化を図る。

第20回副首都推進本部会議（2020年1月22日）における合意に基づき、大阪府・大阪市・堺市は、本戦略における観光施策の方向性を共有し、連携して関連施策を推進することにより、さらなる誘客や府域周遊の促進など事業効果を相乗的に高め、大阪全体としてのメリットにつなげる「新しい好循環」を実現する。

■ SDGsの取組み



SDGsは、2015年9月の国連サミットにおいて採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」で設定された2030年を年限とする国際目標であり、誰一人取り残さない持続可能な社会の実現のため、17の目標と169のターゲットが定められている。大阪は、万博の開催都市として、世界の先頭に立ってSDGsに貢献する「SDGs先進都市」をめざし、様々なステークホルダーと連携のもと取組を進めている。本戦略に基づく施策についても、関係機関等と連携しつつ、SDGsの観点を踏まえながら取組を進めていく。